


ヌカスゲ	<i>Carex mitrata</i> Franch. var. <i>mitrata</i>	絶滅危惧I類
		カヤツリグサ科
選定理由	生育地が限定される上に、もともとの個体数が少なく、継続的な減少が予測されるため。	写真(清水英彦) 標本 
形態の特徴	叢生し、基部は褐色～濃褐色で、褐色部分が高い位置まで色づく。頂小穂は雄性、極めて細く、雄鱗片は淡褐色、鈍頭。雌鱗片は白色で中脈緑色、鈍頭、果胞より短い。果胞はアオスゲよりも細身で、無毛または微毛を散生、有脈、嘴は短く、口部は凹形または平切形。花期はアオスゲ類の中では早く、4月。	
生態的特徴	明るい林床や草地、路傍に生育する多年草。	
分布状況	本州(福島県以南)・四国・九州に分布し、岐阜県では県南東部に分布する。	
減少要因	開発に伴う草地の消失、山林伐採。農耕地の改修工事。	
保全対策	山林の保全。昔ながらの草地や農耕地の維持。	
特記事項		
参考文献	勝山輝男. 2005.「ネイチャーガイド 日本のスゲ」. 文一総合出版, 東京. 星野卓二・正木智美・西本眞理子. 2011.「日本カヤツリグサ科植物図譜」. 平凡社, 東京.	



文責: 清水英彦